

第41期 株主通信

2021年10月1日 ▶ 2022年9月30日

CONTENTS

株主の皆様へ／トップインタビュー	1P
トピックス 1	4P
事業別の概況	5P
連結財務データ	7P
トピックス 2	9P
会社概要 株式情報	10P
株主メモ	裏表紙

Business Report 2022





株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2022年9月30日をもって、第41期を終了いたしましたので、事業の概況等をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2022年12月

代表取締役社長 吉尾 春 樹

テクノロジー ×

Q

当期(2022年9月期)の決算について教えてください。

A

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、政府が推奨する第4次産業革命の進展により、AI、IoT、RPA、ブロックチェーンといったテクノロジーの活用やシェアリングエコノミーへの取組み、デジタルネイティブ企業へと変革する各企業の取組みが加速する中、社会構想が大きく変化する「ニューノーマル」時代を支える技術的な支援やサービスの提供が一層求められております。

また、慢性的な人材不足による現場技術者および現場作業員の確保と育成が大きな課題であり、費用の高騰等厳しい市場環境が続いております。

このような環境の下、積極的な人材の採用および良質なエンジニアの育成に取組みながら、SaaS商品の提供と、システム開発分野全般のサービス価値向上に努めてまいりました。

経営理念

当社は、優れたIT技術により、お客様の問題解決に真摯に取組み、お客様、そして社会に必要とされる会社として貢献いたします。

IT技術により効率的に情報を収集、整理、発信し、社会を構成するひとりひとりが情報を十分に活用していくことができる環境を実現したいと願っております。

当社の従業員は、常に新しいことに積極的に取組み、お客様、自己、会社(株主様)、社会への大きな責任を常に自覚し、優れた企業人として振舞う人でありたいと願っております。

オープンイノベーションで社会のDXを推進

今後は、当社および子会社 SS Technologies株式会社が注力してきたSaaSによるDX領域、RPAソリューション、オープンイノベーションの提供、アライアンスサービスや FA(ファイナンシャル・アドバイザー)などのコンサルティングを加え、新たな価値創造を目指し、企業価値の向上を目指します。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は前連結会計年度に比して215百万円減少し4,704百万円、営業利益は前連結会計年度に比して4百万円増加し382百万円となりました。また、経常利益は前連結会計年度に比して34百万円増加し377百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度に比して282百万円減少し201百万円となりました。

Q 来期(2023年9月期)の見通しについてはいかがですか。

A 当社グループでは、「ITテクノロジーとイノベーションで社会のDXを推進」することを目指して、テクノロジーとオープンイノベーションの融合による新たな価値を創造する企業となるべく取り組んでおります。

SaaS事業のSSクラウドシリーズについては、利用者数は順調に増加しておりさらなる拡大を目指してまいります。

また、これまでのシステム開発で培った実績とノウハウを活かした「SSクラウドシリーズ」「SSペイメントシリーズ」を展開し、ReTech(リーテック)やFinTech(フィンテック)を推進しております。

これらの状況を踏まえ、次期の業績予想は、売上高4,400百万円、営業利益310百万円、経常利益220百万円、親会社株主に帰属する当期純利益110百万円を見込んでおります。

Q 今後の事業への取組みについてお聞かせください。

A 前期においては、SSクラウドシリーズを多くの企業、拠点に導入していただくことができました。SSペイメントシリーズにつきましても、SSクラウドシリーズと連携し、口座振替サービスでは前期と比較して約2倍の利用実績を出すことができました。

これらを踏まえ、2023年9月期ではSaaS事業の強化を行い、株式会社アプラス(新生銀行グループ)と連携し提供を開始したSSペイメントシリーズの拡大なども進めてまいります。

不動産業界のDX化におけるトップランナーを確立することを目標にしておりますが、引き続き不動産業界での契約数拡大に加え、他業種へ展開するための新たなSaaS商品の開発、またプロダクト価値向上とサービス品質の追求を行います。

それにより、事業拡大・企業価値向上を目指してまいります。

Q

株主の皆様へメッセージを
お願いいたします。

A

株主の皆様に対する利益配分につきましては、株主重視の基本政策に基づき、将来にわたる安定配当の維持と企業体質の強化ならびに今後の事業展開に必要な内部留保の確保等を念頭に、利益水準、財政状態および配当性向等を総合的に考慮した上で実施していく方針であります。

本方針に基づき当期の期末配当は1株につき2円とさせていただきます。

また、当社グループはテクノロジー × オープンイノベーションの事業を通じて新たな価値の提供を目指しております。

そのためにこれまで培ったシステム開発のスキルをもってDXを推進し、不動産業界のみならず、様々な業種において、業務の効率化、生産性を高め、価値のあるサービスや商品を提供できるよう努めてまいります。

そして、様々な業種からなるfabbit会員同士との提携や連携を支援し、イノベーションの場を提供し、コンサルティングを行うことにより、新たな価値の提供を目指してまいります。

目標達成のために必要なのは、主体的かつ積極的に行動できる人財であり、引き続き、人財の採用と育成に取り組んでまいります。

株主の皆様にはこれまで以上のご理解とご支援を賜りますよう、今後とも宜しくお願い申し上げます。



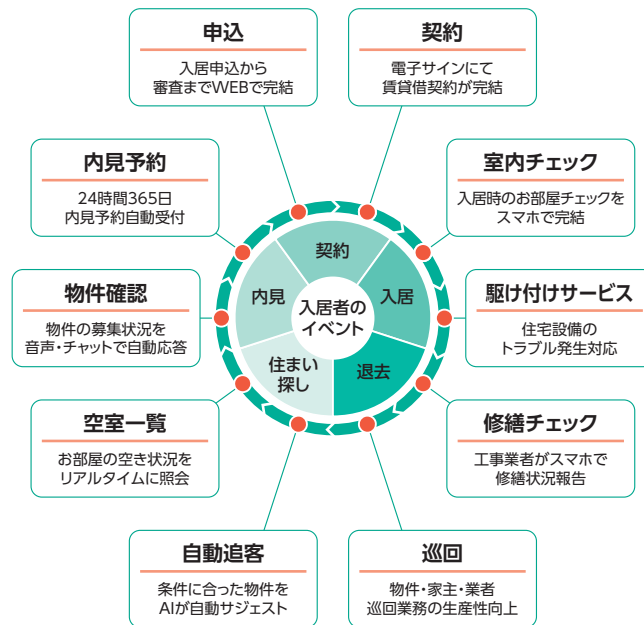
SSクラウドシリーズについて

当社子会社であるSS Technologies株式会社は「お客様の業務の効率性・生産性を実現するサービスを提供し、社会に貢献するとともに個人の生活を豊かにする」という理念のもと、不動産業界向けにSaaS商品を開発しました。

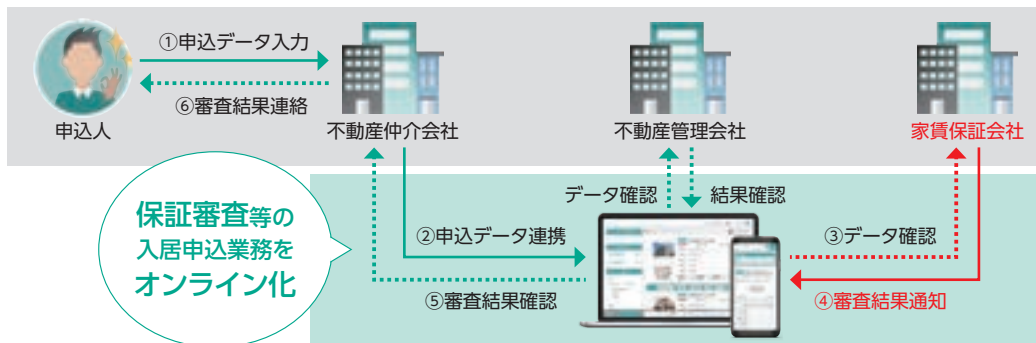
「SSクラウドシリーズ」とは、不動産に特化したSaaSで賃貸管理、斡旋業務を効率化するものです。

内見予約から入居申込みまで、賃貸管理会社と斡旋会社間の情報共有、やりとりをシステム上で完結できる「SKIPS」から始まり、物件情報の登録・公開や検索・閲覧ができる業者間流通サイト「SKIPS BB」や、オーナーや業者の巡回業務を効率に行える「巡回クラウド」では、複数の巡回先を効率的に回るルートを自動的に作成、案内を行い、報告書を自動作成するなどの機能が備わっております。そのほかの商品も開発し、不動産企業のDXを推進しております。

おかげさまで利用企業数は2022年11月末時点で、累計40,000社※1を突破し、拠点数においては57,000拠点※2を超えております。2023年9月期においても引き続き拡大に努めてまいります。



■ サービス例: 「SKIPS」のしくみ



※1 上記「累計利用拠点数」は、クラウド毎の斡旋会社と管理会社の利用拠点数を単純に合計した数字です。(管理会社は、お申込みいただいた中で本店、支店、営業所、店舗をカウントしています)
 ※2 上記「累計利用企業数」は、クラウド毎の斡旋会社と管理会社の利用企業数を単純に合計した数字です。

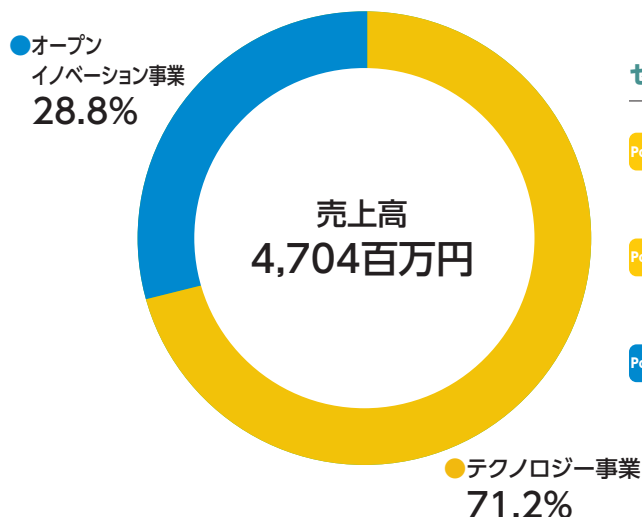
お問い合わせ先

SS Technologies株式会社 不動産ソリューション

所在地: 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号 丸の内トラストタワーN館 19階

TEL: 03-3231-8109 E-mail: contact@sstechnologies.co.jp

売上高は微減するも営業利益は増加



セグメントポイント

- Point** クラウドシリーズは自社開発、他社との連携により多様多様なサービスを追加し拡大。
- Point** 売上は減少しつつも、原価の圧縮などでセグメント利益が増加。
- Point** コンサルティングが計画通りに推移したため、売上高、セグメント利益ともに増加。

テクノロジー事業

●売上高

3,349百万円

(前期比 10.3%減)

●セグメント利益

336百万円

(前期比 14.2%増)

長年にわたって培ってきた不動産事業に関するシステム開発のノウハウを活かして、SSクラウドシリーズ、SSペイメントシリーズを含めたSaaSの提供を行っております。これにより、不動産業界のIT化を後押しし、業務効率化等の生産性の向上に寄与しました。また、当社のSSクラウドシリーズは、自社開発および他社との連携を行い、多種多様なサービスを盛り込み、拡大しております。Web技術をベースとするシステム開発に強みを持ち、不動産分野、情報通信分野、生損保分野、教育分野等のお客様に対して長年にわたってシステム開発およびソリューションサービスの提供、賃貸不動産情報サイトの運営、RPAソリューションサービスを行っております。

当連結会計年度におきましては、一部案件の受注が予定より遅れて売上は減少しましたが、遅れはほぼ解消され、継続案件も堅調に推移し、さらに原価の圧縮などに取組み、その成果が得られたことにより、セグメント利益は増加となりました。

これらにより、テクノロジー事業の売上高は前連結会計年度に比して385百万円(10.3%)減少し3,349百万円、セグメント利益は前連結会計年度に比して41百万円(14.2%)増加し336百万円となりました。



オープンイノベーション事業

●売上高

1,384百万円

(前期比 29.7%増)

●セグメント利益

210百万円

(前期比 116.4%増)

異業種・異分野が持つ技術やアイデア等を取り入れ、スタートアップ企業への事業立ち上げ等のコンサルティング、イノベーションの場の提供を行っております。

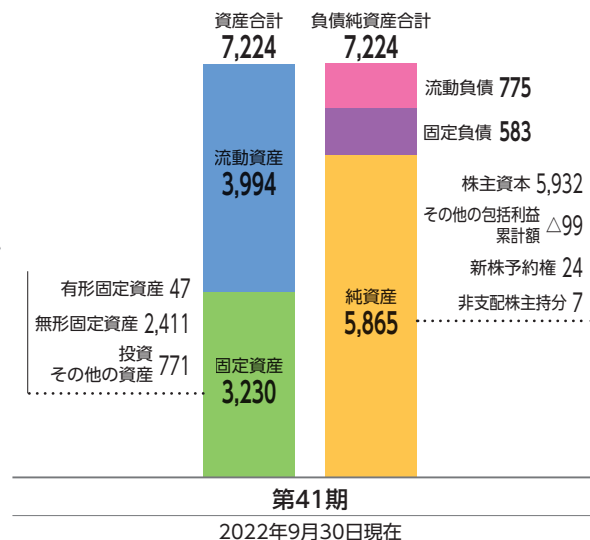
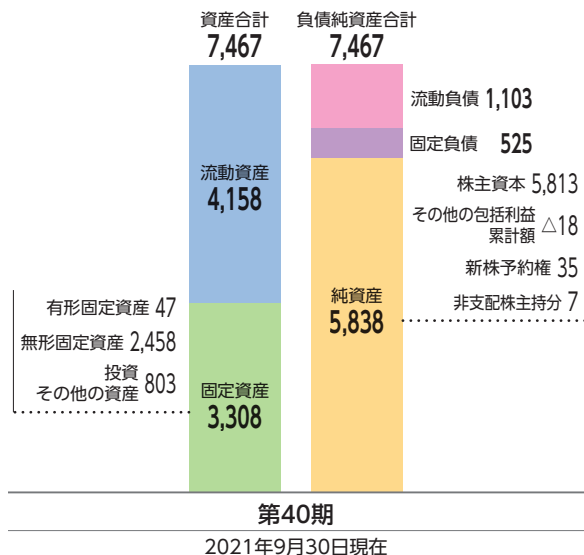
当連結会計年度におきましては、拠点の開鎖に伴い収益が減少したものの、コンサルティングが計画通り推移し、売上高、セグメント利益ともに増加しました。

これらにより、オープンイノベーション事業の売上高は前連結会計年度に比して316百万円(29.7%)増加し1,384百万円、セグメント利益は前連結会計年度に比して113百万円(116.4%)増加し210百万円となりました。

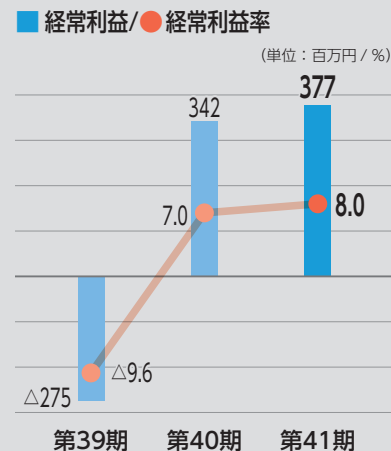
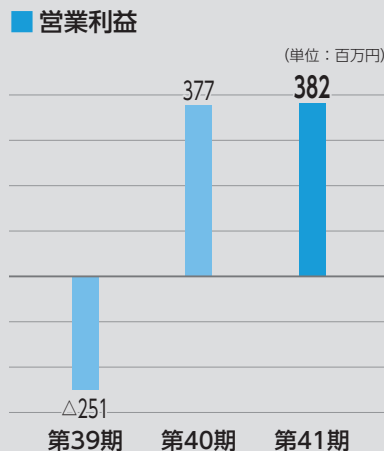
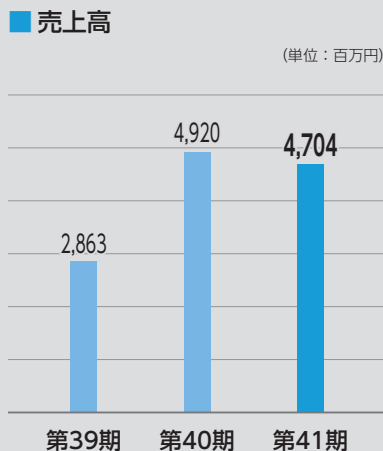


連結財務データ

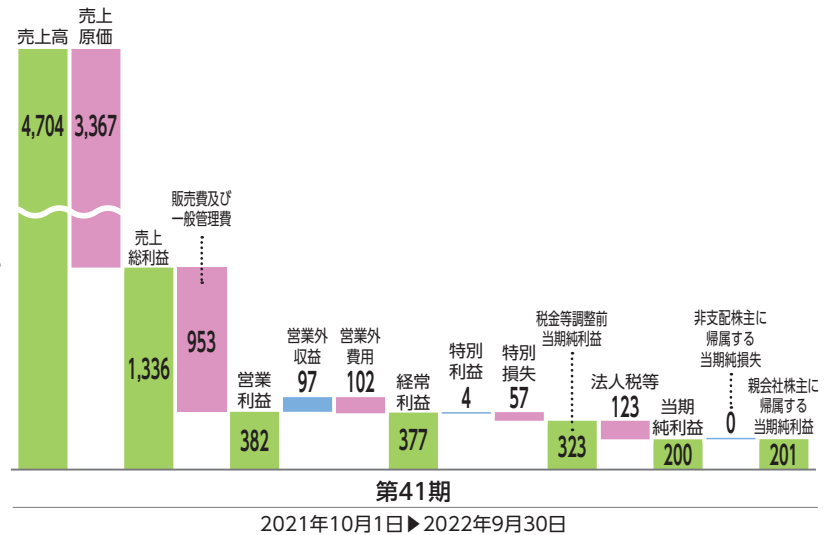
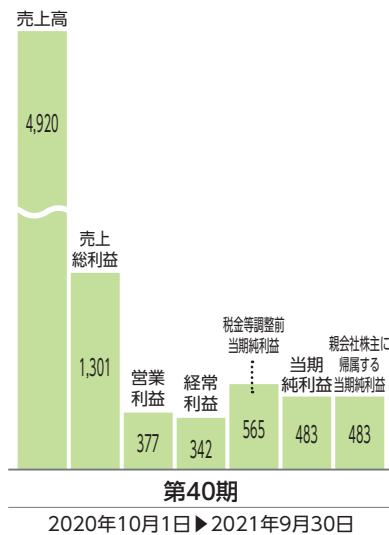
資産の状況 (単位:百万円)



財務ハイライト

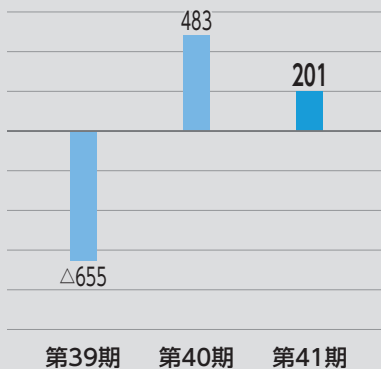


損益の状況 (単位:百万円)



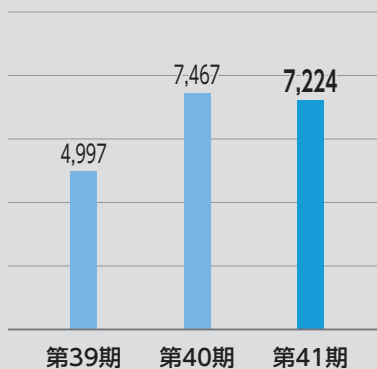
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



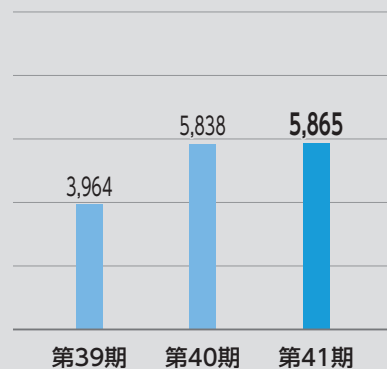
総資産

(単位:百万円)



純資産

(単位:百万円)



SSペイメントシリーズ※について

SS Technologies株式会社では、不動産業界向けのSaaS商品「SSクラウドシリーズ」に引き続き、さらなる作業効率化のため、ペイメント事業に参画しております。

SSペイメントシリーズとは、不動産に関わる金銭やりとりをシステム上で完結できるサービスです。

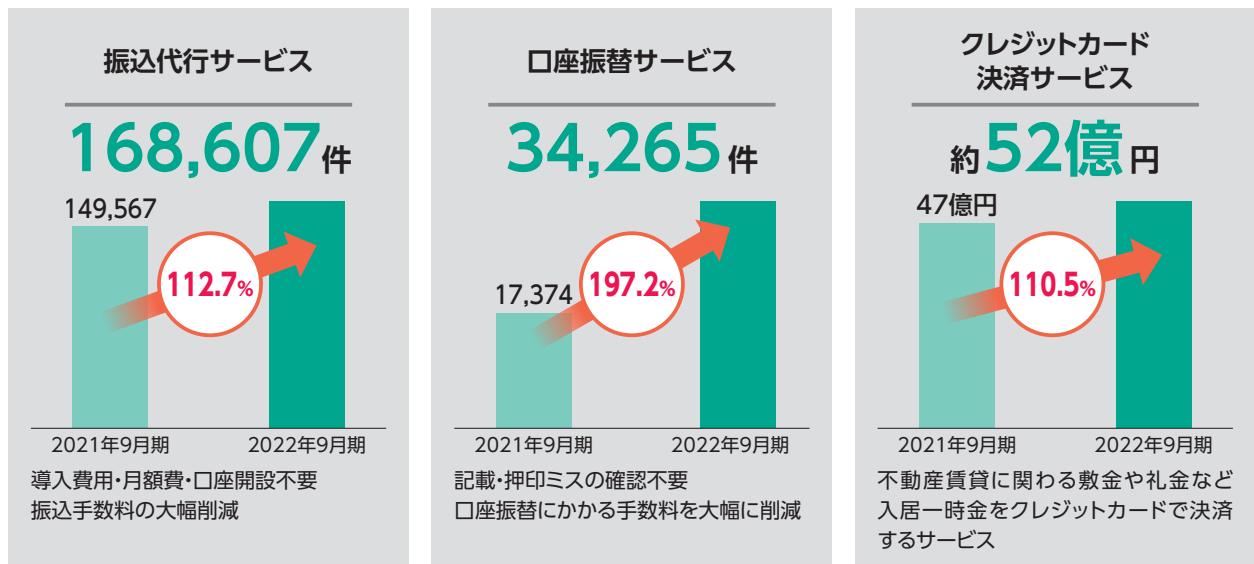
SSクラウドシリーズを利用している企業を中心に提供しており、これまでは入居者さまが振込を行い、斡旋会社にて入金確認、督促作業を行っていたものを、クレジット決済やWEB口座振替などで速やかに完結できるようにしました。

商品としては、不動産賃貸に関わる費用をクレジットカードで決済できるサービス、口座振替にかかる、書類の記入なしにWEBで申請できる「WEB口座振替サービス」、振込手数料を削減できる「振込代行サービス」を展開し、口座振替サービスにおいては、2021年9月期と比較し倍増しました。

また、2022年9月に新たなサービスをリリースしております。入居一時金を分割払いにできる「BunChinPAY(入居一時金のWEB クレジット)」サービスを株式会社アプラス(新生銀行グループ)と提携し、提供を開始いたしました。

これは、入居一時金を最大36回までの分割払いを行えるものです。これにより、入居時の負担を軽減することが可能になりました。

2023年9月期においては、SSペイメントシリーズの契約数のさらなる拡大を目指してまいります。



※本商品は運営会社にお客様を紹介するサービスです。

お問い合わせ先

SS Technologies株式会社 不動産ソリューション

所在地：東京都千代田区丸の内一丁目8番1号 丸の内トラストタワーN館 19階

TEL：03-3231-8109 E-mail：contact@sstechnologies.co.jp

会社概要

CORPORATE INFORMATION

会社の概要

(2022年9月30日現在)

商号	株式会社システムソフト
設立	1979年9月
代表者の氏名	吉尾 春樹
決算期	9月30日
従業員数	175名 (連結・2022年9月30日現在)
主要な事業所	東京本社 (東京都千代田区) 福岡本社 (福岡市中央区)

役員

(2022年12月21日現在)

代表取締役社長	吉尾 春樹
代表取締役副社長	結城 耕造
取締役	石川 雅浩
取締役	大村 浩次
取締役(社外)	高橋 裕次郎
取締役(社外)	浅子 正明
常勤監査役(社外)	平山 美智子
監査役(社外)	島田 敏雄
監査役(社外)	高橋 英朗

株式情報

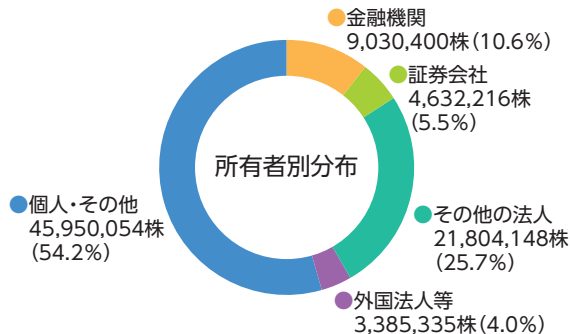
(2022年9月30日現在)

STOCK INFORMATION

株式の状況

発行可能株式総数	140,000,000株
発行済株式総数	84,834,140株
株主数	12,850名

株式分布状況



大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
Apaman Network 株式会社	11,854,700	13.97
APAMAN株式会社	8,692,320	10.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,006,600	8.26
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	2,422,400	2.85
丸山三千夫	2,270,000	2.67
SMBC日興証券株式会社	1,890,300	2.22
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,456,600	1.71
丸山光子	990,000	1.16
新村健造	986,000	1.16
藤井英樹	900,100	1.06

(注) 持株比率は自己株式(31,987株)を控除し、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

株主メモ

STOCK INFORMATION

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 期 末 配 当 金 毎年9月30日 中 間 配 当 金 毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 【郵便物送付先】 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 【電話照会先】 ☎ 0120-782-031 受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く) 【インターネットホームページURL】 https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/ 【FAQサイトURL】 https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 https://www.systemsoft.co.jp/ir/index.shtml やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場（証券コード7527）
単元株式数	100株

株式に関する住所変更等 のお手続きについてのご照会

証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

未払配当金の支払について

お受け取りがお済みでない配当金等に関するお手続きにつきましては、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先にお願いいたします。

ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご利用ください。

<https://www.systemsoft.co.jp/>

システムソフト

🔍 検索

Systemsoft

株式会社 システムソフト

東京本社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号

福岡本社

〒810-8665 福岡市中央区天神一丁目12番1号

電話 092-732-1515(代表)